



FORUM

フォーラム

わたしたちの舞台はどこにある？

劇場と社会包摂
を考える実験

九州大学ソーシャルアートラボ公開講座
シリーズ「アートと社会包摂」



参加費無料
定員 80名 要事前申し込み

2018年
7月14日(土)
18:00-20:30
(開場 17:30)
九州大学大橋キャンパス
多次元デザイン実験棟ホール
福岡市南区塩原 4-9-1

登壇者

野村誠

作曲家・ピアニスト

吉野さつき

ワークショップコーディネーター・
愛知大学文学部教授

倉品淳子

俳優・演出家

長津結一郎

九州大学大学院
芸術工学研究院助教



SOCIAL
ART
LAB
FACULTY OF DESIGN
KYUSHU UNIVERSITY

九州大学



大学院芸術工学研究院
大学院芸術工学府
芸術工学部

いま福祉の分野で表現活動は
余暇活動やケアとしての役割を越えて
社会と関わるためのきっかけとなっています。

一方、文化施設や文化の専門家たちも
福祉の分野とさまざまな形で接触を試みています。
多様な人々が共にある舞台とはどのようなものでしょうか。
そしてその舞台は、同じ時代を生きる人々や社会に何をもたらすのでしょうか。

「わたしたちの舞台はどこにある？」をテーマに
討論あり、パフォーマンスあり、
何が起るかわからない2時間半をお届けします。

登壇者プロフィール

野村誠 作曲家・ピアニスト



ブリティッシュ・カウンシル招聘により英ヨーク大学大学院音楽研究科にて1年間研修。インドネシアと日本で何度も上演される度に変化するガムラン作品「踊れ！ペーターヴェン」、日英共同の「ホエールトーン・オペラ」、マルチメディア作品「老人ホーム・REMIX」、インスタレーション「根柢」、「アコーディオン協奏曲」など、20カ国以上、40都道府県以上で、分野を横断し人と環境と出会いながら、作曲プロジェクトを展開している。異ジャンルコラボバンド「門限ズ」では、「ノム」として活躍中。

吉野さつき ワークショップコーディネーター・愛知大学文学部教授



英国シティ大学大学院でアーツ・マネジメントを学ぶ。公共ホール勤務、英国での研修（文化庁派遣芸術家在外研修員）後、コーディネーターとして、教育、福祉などの現場でアーティストによるワークショップを数多く企画。アウトリーチ事業やコミュニティアーツプログラム、ワークショップ等の企画運営を担う人材育成にも各地で携わる。異ジャンルコラボバンド「門限ズ」では、「めい」として活躍中。

倉品淳子 俳優・演出家



劇団山の手事情社所属。1990年より俳優として劇団山の手事情社にて舞台表現を追求する傍ら、インプロや大道芸、「あなご事情団」「門限ズ」などのユニットに参加し、観客参加型演劇、他分野アーティストとの作品作りなど、演劇の可能性を広げる活動も同時に行ってきた。スイス、ドイツ、ポーランド、ルーマニア、韓国など海外での公演も多数。2012年より認定 NPO 法人ニコちゃんの会「すっごい演劇アートプロジェクト」チーフプロデューサー。異ジャンルコラボバンド「門限ズ」では、「じょほんこ」として活躍中。

長津結一郎 九州大学大学院芸術工学研究院助教



専門はアートマネジメント、芸術と社会包摂。博士（学術・東京藝術大学）。異なる立場や背景をもつ人々がどのように協働することができるのか、ワークショップの開発や協働の場づくりを題材として研究／実践の双方からアプローチを試みている。著書に『舞台の上の障害者：境界から生まれる表現』（九州大学出版会、2018年）など。これまで関わった主なプロジェクトに「東京迂回路研究」など。2016年より現職。

お申し込み・お問い合わせ

7/10(月)
締切

下記の項目を記載のうえ、電話・メール・FAX のいずれかよりお申し込みください。またソーシャルアトラボ公式ホームページ内「CONTACT」からもお申し込みいただけます。

① お名前（フリガナ） ② お電話番号 ③ ご所属（あれば）

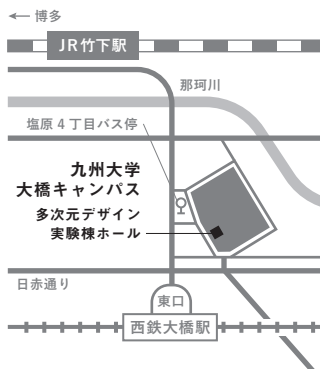
九州大学ソーシャルアトラボ

TEL/FAX 092-553-4552

MAIL sal-cul@design.kyushu-u.ac.jp

WEB <http://www.sal.design.kyushu-u.ac.jp>

ソーシャルアトラボ



関連講座

舞台制作

インターンシップ生募集！

講座期間：2018年7月～2019年1月

門限ズ「野村誠、吉野さつき、遠田誠、倉品淳子」による身体ワークショップ、現場でのインターンシップほか

申し込み締切：2018年6月22日(金)

—— 詳細はウェブサイトへ！ ——
<http://www.sal.design.kyushu-u.ac.jp>

- ・コミュニケーション支援・会話の見える化アプリ「UD トーク」を活用したリアルタイム字幕をご提供いたします。
- ・大学正門から会場まではバリアフリーで入場いただけます。
- ・その他、当日の配慮についてご要望等がありましたら、可能な範囲で対応いたしますので、お申し出ください。

主催：九州大学大学院芸術工学研究院ソーシャルアトラボ
共催：公益財団法人福岡市文化芸術振興財団、認定 NPO 法人ニコちゃんの会
助成：平成 30 年度 文化庁「大学における文化芸術推進事業」
後援：福岡県、福岡市、日本アートマネジメント学会九州部会

九州大学ソーシャルアトラボは、社会の課題にコミットし、人間どうしの新しいつながりを生み出す芸術実践を「ソーシャルアート」と捉え、新しい生の価値を提示していくことを目的としています。平成30年からは、「アートと社会包摂」をテーマとして研究・教育・実践・提言に取り組んでいます。



大学から
文化力
POWER OF
CULTURE